

デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業

基本情報

組織情報	府省庁	文部科学省				
	事業所管課室	文部科学省 高等教育局 専門教育課 情報教育推進第一係				
	作成責任者	松本英登				
	その他担当組織	文部科学省 高等教育局 専門教育課 文部科学省 高等教育局 専門教育課 教育振興係				
基本情報	予算事業ID	001908	事業開始年度	2022	事業終了（予定）年度	2029
	事業年度	2026		事業区分	前年度事業	
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL
	文部科学省	4個性が輝く高等教育の振興		4-1大学などにおける教育研究の質の向上		https://www.mext.go.jp/content/20251028-mxt_kanseisk01-000036110_01.pdf
関連事業	--		主要経費	教育振興助成費		
概要・目的	事業の目的	大学院の閉塞性・分野の壁を打破し、高度な専門的知識のみならず、数理・データサイエンス・AI分野のスキルや国際感覚を身に付けた、今後の社会を牽引する高度人材の育成のための分野融合の体系的な大学院教育モデルを構築。				
	現状・課題	「IT人材白書2020」においては、将来のIT関連市場の成長の見通しによって低位・中位・高位の3種のシナリオが設定され、中位のシナリオでは、2030年に約45万人のIT人材が不足すると試算されている（「IT人材白書」独立行政法人情報処理推進機構社会基盤センター）。医理工農学など自然科学系分野のみならず、経済学、経営学、公共政策、教育学、法学、芸術など人文・社会科学系等の分野においても、より高度な数理・データサイエンス・AIの素養への需要が増加しており、「専門分野×データサイエンス」のような文理横断の知識・技術を習得した修士・博士を輩出する学位プログラムの創設は、Society 5.0やDXの実現のために喫緊の課題となっている。				
	事業の概要	人文社会系等の研究科において、専門分野×データサイエンス・コンピューターサイエンス分野のダブルメジャーなどの大学院教育の推進により、アカデミック・ノンアカデミックにおいて国内外で活躍できるデジタルの素養を持ち合わせた人材を育成。				
	事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/x-pro/index.html				
根拠法令	法令名	法令番号		条	項	号・号の細分
	--	--		--	--	--

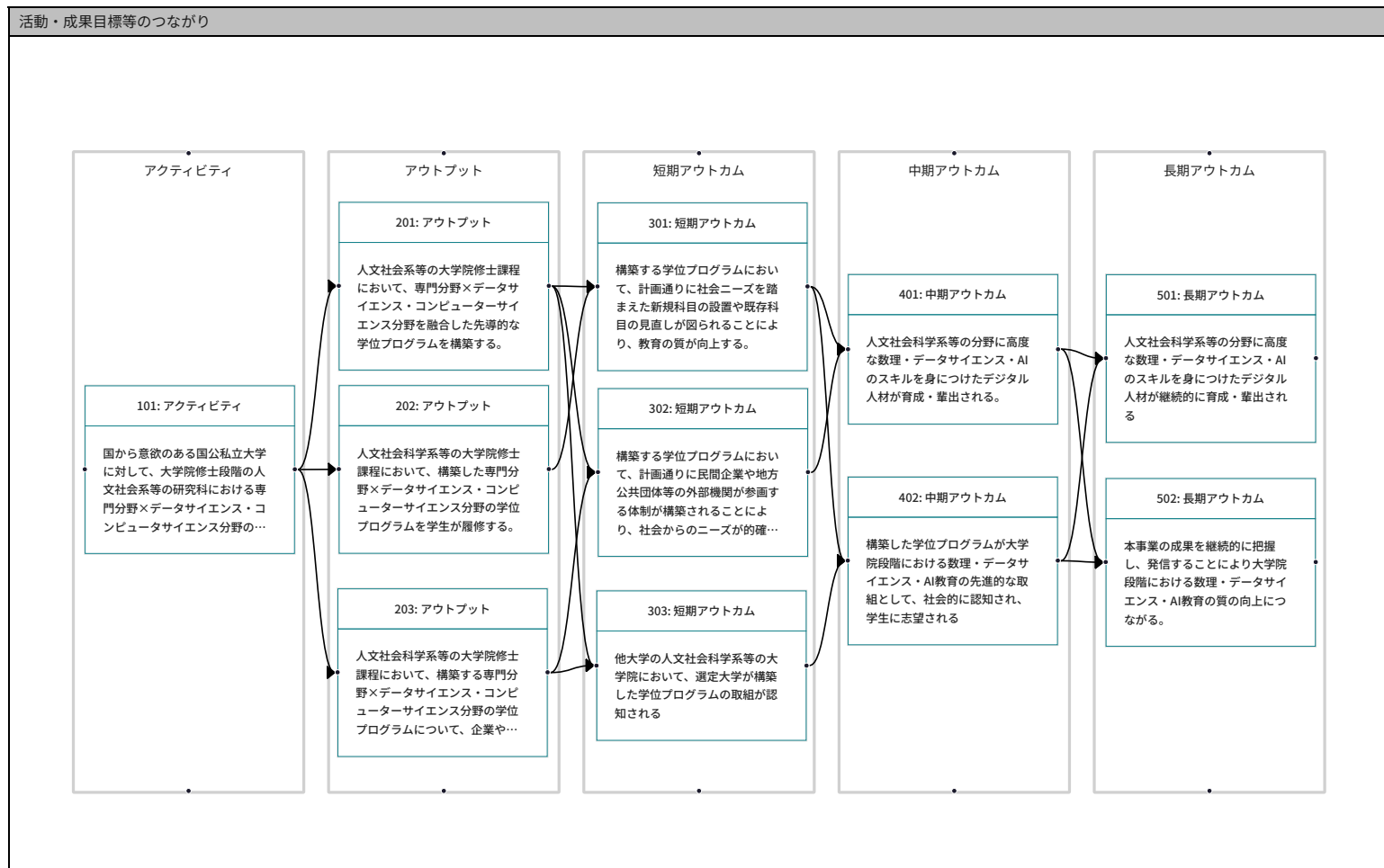
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	・「経済財政運営と改革の基本方針2021」（令和3年6月18日）	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/honebuto/2021/2021_basicpolicies_ja.pdf				
	・「統合イノベーション戦略2021」（令和3年6月18日）	https://www8.cao.go.jp/cstp/tougosenryaku/togo2021_honbun.pdf				
	・「成長戦略フォローアップ」（令和3年6月18日）	https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/seicho/pdf/fu2021.pdf				
	・「デジタル社会の実現に向けた重点計画」（令和3年6月18日）	https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/information/field_ref_resources/576be222-e4f3-494c-bf05-8a79ab17ef4d/210618_01_doc01.pdf				
	・「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」（令和3年6月18日）	https://www.chisou.go.jp/sousei/info/pdf/r03-6-18-kihonhousin2021hontai.pdf				
	・「AI戦略2021」（令和3年6月11日 統合イノベーション戦略推進会議決定）	https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/aistrategy2021_honbun.pdf				
実施方法	補助					
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等		補助率URL	
	国立大学法人滋賀大学ほか	定額補助 （交付要綱： https://www.mext.go.jp/content/20240403-mxt_senmon01-000023660_01.pdf ）	70,122千円		--	
備考	--					

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)		2023	2024	2025	2026	2027
	要求額	451,138	1,005,418	477,618	413,226	--
	当初予算	451,138	477,618	447,468	413,226	--
	補正予算	--	--	--	--	--
	前年度から繰越し	--	--	--	--	--
	予備費等	--	--	--	--	--
	計	451,138	477,618	447,468	413,226	--
	執行額	450,879	468,093	447,468	--	--
執行率	99.9%	98%	100%	--	--	

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--		--	
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 高等教育振興費 / 研究拠点形成費等補助金		--	412,388	--
	当初予算 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 高等教育振興費 / 研究拠点形成等業務旅費		--	838	--	
主な増減理由	--			その他特記事項	--	

効果発現経路



アクティビティからの発現経路 101-201-301-401-501

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会系等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。							
アウトプット	活動目標	人文社会系等の大学院修士課程において、専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野を融合した先導的な学位プログラムを構築する。		活動指標	学位プログラムの構築数			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2023年度		2024年度		2025年度	2026年度	
	当初見込み/目標値(件)	0		3		8	11	
	活動実績/成果実績(件)	0		3		8	--	
↓後続アウトカムへのつながり	人文・社会科学系分野において、社会的ニーズに即した数理・データサイエンス・AIをはじめとした情報系の分野に関する知識・技術を得得する学位プログラムであることから、効果発現の初期段階として、社会からのニーズに基づき、社会で活躍することを意識した教育の質的向上を図ることができると考えられるため、短期アウトカムとして設定した。							
短期アウトカム	成果目標	構築する学位プログラムにおいて、計画通りに社会ニーズを踏まえた新規科目の設置や既存科目の見直しが行われることにより、教育の質が向上する。		成果指標	学位プログラムを構築するにあたり、事業申請時の計画どおりに新たに構築または内容の高度化を図った科目数の割合			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度	目標年度 2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--	100	--	--	--
	活動実績/成果実績(%)	123		102	--	--	--	--
	達成率(%)	--		--	--	--	--	--
↓後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムにおいて、社会のニーズが反映され、教育の質向上を実施していくことで、本事業で期待される文理横断的なデジタル人材が輩出され、民間企業や地方公共団体で活躍していくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。							

中期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が育成・輩出される。		成果指標	構築した学位プログラムに入学者数に対して、プログラムを修了し、学位を取得した者の割合	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	

活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	目標年度 2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--	--	--	--	80
	活動実績/成果実績(%)	100		75	--	--	--	--
	達成率(%)	--		--	--	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり
本事業の取組が広く認知され、学位を取得して社会で活躍する事例が増えていくことで、選定されていない大学も含めて本事業で期待する文理横断的なデジタル人材育成の取組が加速していくことが想定されるため、長期アウトカムとして設定した。

長期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が継続的に育成・輩出される		成果指標	本事業最終年度の翌年度に実施する事後評価において、本事業の目的達成の目安であるA以上の評価を受けた学位プログラムの割合	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業委員会における評価結果	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	

活動・成果目標と実績		2026年度		2027年度	目標年度 2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--	80	--	80
	活動実績/成果実績(%)	--		--	--	--	--
	達成率(%)	--		--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 101-201-301-401-502

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会系等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。							
アウトプット	活動目標	人文社会系等の大学院修士課程において、専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野を融合した先導的な学位プログラムを構築する。		活動指標	学位プログラムの構築数			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2023年度		2024年度		2025年度	2026年度	
	当初見込み/目標値(件)	0		3		8	11	
	活動実績/成果実績(件)	0		3		8	--	
↓後続アウトカムへのつながり	人文・社会科学系分野において、社会的ニーズに即した数理・データサイエンス・AIをはじめとした情報系の分野に関する知識・技術を得得する学位プログラムであることから、効果発現の初期段階として、社会からのニーズに基づき、社会で活躍することを意識した教育の質的向上を図ることができると考えられるため、短期アウトカムとして設定した。							
短期アウトカム	成果目標	構築する学位プログラムにおいて、計画通りに社会ニーズを踏まえた新規科目の設置や既存科目の見直しが行われることにより、教育の質が向上する。		成果指標	学位プログラムを構築するにあたり、事業申請時の計画どおりに新たに構築または内容の高度化を図った科目数の割合			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度	目標年度 2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--	100	--	--	--
	活動実績/成果実績(%)	123		102	--	--	--	--
	達成率(%)	--		--	--	--	--	--
↓後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムにおいて、社会のニーズが反映され、教育の質向上を実施していくことで、本事業で期待される文理横断的なデジタル人材が輩出され、民間企業や地方公共団体で活躍していくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。							

中期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が育成・輩出される。		成果指標	構築した学位プログラムに入学者数に対して、プログラムを修了し、学位を取得した者の割合			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	目標年度 2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--	--	--	--	80
	活動実績/成果実績(%)	100		75	--	--	--	--
	達成率(%)	--		--	--	--	--	--
↓後続アウトカムへのつながり	本事業の取組が広く認知され、成果を継続的に発信していくことで、選定されていない大学も含めて大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育が浸透していき、社会ニーズを踏まえた質の高い大学院教育の実施につながることが想定されるため、長期アウトカムとして設定した。							
長期アウトカム	成果目標	本事業の成果を継続的に把握し、発信することにより大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の質の向上につながる。		成果指標	プログラムを修了した学位取得者が活躍する民間企業、地方公共団体等の外部機関から、プログラムの教育研究内容に関する好意的な評価の割合			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2026年度		2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度	
	当初見込み/目標値(%)	--		--	--	--	80	
	活動実績/成果実績(%)	--		--	--	--	--	
	達成率(%)	--		--	--	--	--	

アクティビティからの発現経路 101-201-301-402-501

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会系等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。							
アウトプット	活動目標	人文社会系等の大学院修士課程において、専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野を融合した先進的な学位プログラムを構築する。		活動指標	学位プログラムの構築数			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2023年度		2024年度		2025年度	2026年度	
	当初見込み/目標値(件)	0		3		8	11	
	活動実績/成果実績(件)	0		3		8	--	
↓後続アウトカムへのつながり	人文・社会科学系分野において、社会的ニーズに即した数理・データサイエンス・AIをはじめとした情報系の分野に関する知識・技術を習得する学位プログラムであることから、効果発現の初期段階として、社会からのニーズに基づき、社会で活躍することを意識した教育の質的向上を図ることができると考えられるため、短期アウトカムとして設定した。							
短期アウトカム	成果目標	構築する学位プログラムにおいて、計画通りに社会ニーズを踏まえた新規科目の設置や既存科目の見直しを図られることにより、教育の質が向上する。		成果指標	学位プログラムを構築するにあたり、事業申請時の計画どおりに新たに構築または内容の高度化を図った科目数の割合			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度	目標年度 2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--	100	--	--	--
	活動実績/成果実績(%)	123		102	--	--	--	--
	達成率(%)	--		--	--	--	--	--
↓後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムにおいて、社会のニーズが反映され、教育の質向上を実施していくことで、学部段階や民間企業や地方公共団体を含めて、志願者数が増えて、広く社会に認知されていくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。							
中期アウトカム	成果目標	構築した学位プログラムが大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の先進的な取組として、社会的に認知され、学生に志望される		成果指標	構築した学位プログラムにおける入学志願者数の割合			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2025年度		2026年度		2027年度	目標年度 2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--		--	200	--
	活動実績/成果実績(%)	84		--		--	--	--
	達成率(%)	--		--		--	--	--
↓後続アウトカムへのつながり	本事業の取組が広く認知され、学位を取得して社会で活躍する事例が増えていくことで、選定されていない大学も含めて本事業で期待する文理横断的なデジタル人材育成の取組が加速していくことが想定されるため、長期アウトカムとして設定した。							
長期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が継続的に育成・輩出される		成果指標	本事業最終年度の翌年度に実施する事後評価において、本事業の目的達成の目安であるA以上の評価を受けた学位プログラムの割合			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業委員会における評価結果			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2026年度		2027年度		目標年度 2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--		80	--	80
	活動実績/成果実績(%)	--		--		--	--	--
	達成率(%)	--		--		--	--	--

アクティビティからの発現経路 101-201-301-402-502

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会系等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。							
アウトプット	活動目標	人文社会系等の大学院修士課程において、専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野を融合した先進的な学位プログラムを構築する。		活動指標	学位プログラムの構築数			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2023年度		2024年度		2025年度	2026年度	
	当初見込み/目標値(件)	0		3		8	11	
	活動実績/成果実績(件)	0		3		8	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	人文・社会科学系分野において、社会的ニーズに即した数理・データサイエンス・AIをはじめとした情報系の分野に関する知識・技術を得得する学位プログラムであることから、効果発現の初期段階として、社会からのニーズに基づき、社会で活躍することを意識した教育の質的向上を図ることができると考えられるため、短期アウトカムとして設定した。							
短期アウトカム	成果目標	構築する学位プログラムにおいて、計画通りに社会ニーズを踏まえた新規科目の設置や既存科目の見直しを図られることにより、教育の質が向上する。		成果指標	学位プログラムを構築するにあたり、事業申請時の計画どおりに新たに構築または内容の高度化を図った科目数の割合			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度	目標年度 2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--	100	--	--	--
	活動実績/成果実績(%)	123		102	--	--	--	--
	達成率(%)	--		--	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムにおいて、社会のニーズが反映され、教育の質向上を実施していくことで、学部段階や民間企業や地方公共団体を含めて、志願者数が増えて、広く社会に認知されていくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。							
中期アウトカム	成果目標	構築した学位プログラムが大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の先進的な取組として、社会的に認知され、学生に志望される		成果指標	構築した学位プログラムにおける入学志願者数の割合			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2025年度		2026年度		2027年度	目標年度 2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--		--	200	--
	活動実績/成果実績(%)	84		--		--	--	--
	達成率(%)	--		--		--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	本事業の取組が広く認知され、成果を継続的に発信していくことで、選定されていない大学も含めて大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育が浸透していき、社会ニーズを踏まえた質の高い大学院教育の実施につながることが想定されるため、長期アウトカムとして設定した。							
長期アウトカム	成果目標	本事業の成果を継続的に把握し、発信することにより大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の質の向上につながる。		成果指標	プログラムを修了した学位取得者が活躍する民間企業、地方公共団体等の外部機関から、プログラムの教育研究内容に関する好意的な評価の割合			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2026年度		2027年度		2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--		--	--	80
	活動実績/成果実績(%)	--		--		--	--	--
	達成率(%)	--		--		--	--	--

アクティビティからの発現経路 101-201-302-401-501

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会系等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。								
アウトプット	活動目標	人文社会系等の大学院修士課程において、専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野を融合した先導的な学位プログラムを構築する。		活動指標	学位プログラムの構築数				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績		2023年度		2024年度		2025年度		2026年度	
	当初見込み/目標値(件)	0		3		8		11	
	活動実績/成果実績(件)	0		3		8		--	
後続アウトカムへのつながり	企業での活用事例等の最新の動向に関する理解が不可欠な情報系分野を融合した学位プログラムであることを踏まえて、効果発現の初期段階として、民間企業や地方公共団体等の外部機関との連携が深まることが考えられるため、短期アウトカムとして設定した。								
短期アウトカム	成果目標	構築する学位プログラムにおいて、計画通りに民間企業や地方公共団体等の外部機関が参画する体制が構築されることにより、社会からのニーズが的確に反映された大学院教育を実現する。		成果指標	学位プログラムを構築するにあたり、事業申請時の計画どおりに民間企業や地方公共団体等の外部機関が教育研究に参画している割合				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度		目標年度 2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--		90	--	--	--
	活動実績/成果実績(%)	33		56		--	--	--	--
	達成率(%)	--		--		--	--	--	--
後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムにおいて、社会のニーズが反映され、教育の質向上を実施していくことで、本事業で期待される文理横断的なデジタル人材が輩出され、民間企業や地方公共団体で活躍していくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。								

中期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が育成・輩出される。		成果指標	構築した学位プログラムに入学者数に対して、プログラムを修了し、学位を取得した者の割合				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度		2026年度	2027年度	2028年度	目標年度 2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--		--	--	--	80
	活動実績/成果実績(%)	100		75		--	--	--	--
	達成率(%)	--		--		--	--	--	--
後続アウトカムへのつながり	本事業の取組が広く認知され、学位を取得して社会で活躍する事例が増えていくことで、選定されていない大学も含めて本事業で期待する文理横断的なデジタル人材育成の取組が加速していくことが想定されるため、長期アウトカムとして設定した。								
長期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が継続的に育成・輩出される		成果指標	本事業最終年度の翌年度に実施する事後評価において、本事業の目的達成の目安であるA以上の評価を受けた学位プログラムの割合				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業委員会における評価結果				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績		2026年度		2027年度		目標年度 2028年度	2029年度		最終目標年度 2030年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--		80	--		80
	活動実績/成果実績(%)	--		--		--	--		--
	達成率(%)	--		--		--	--		--

アクティビティからの発現経路 101-201-302-401-502

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会系等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。								
アウトプット	活動目標	人文社会系等の大学院修士課程において、専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野を融合した先導的な学位プログラムを構築する。		活動指標	学位プログラムの構築数				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績		2023年度		2024年度		2025年度	2026年度		
	当初見込み/目標値(件)	0		3		8	11		
	活動実績/成果実績(件)	0		3		8	--		
後続アウトカムへのつながり	企業での活用事例等の最新の動向に関する理解が不可欠な情報系分野を融合した学位プログラムであることを踏まえて、効果発現の初期段階として、民間企業や地方公共団体等の外部機関との連携が深まることが考えられるため、短期アウトカムとして設定した。								
短期アウトカム	成果目標	構築する学位プログラムにおいて、計画通りに民間企業や地方公共団体等の外部機関が参画する体制が構築されることにより、社会からのニーズが的確に反映された大学院教育を実現する。		成果指標	学位プログラムを構築するにあたり、事業申請時の計画どおりに民間企業や地方公共団体等の外部機関が教育研究に参画している割合				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度		目標年度 2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--		90	--	--	--
	活動実績/成果実績(%)	33		56		--	--	--	--
	達成率(%)	--		--		--	--	--	--
後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムにおいて、社会のニーズが反映され、教育の質向上を実施していくことで、本事業で期待される文理横断的なデジタル人材が輩出され、民間企業や地方公共団体で活躍していくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。								
中期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が育成・輩出される。		成果指標	構築した学位プログラムに入学者数に対して、プログラムを修了し、学位を取得した者の割合				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度		2026年度	2027年度	2028年度	目標年度 2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--		--	--	--	80
	活動実績/成果実績(%)	100		75		--	--	--	--
	達成率(%)	--		--		--	--	--	--
後続アウトカムへのつながり	本事業の取組が広く認知され、成果を継続的に発信していくことで、選定されていない大学も含めて大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育が浸透していき、社会ニーズを踏まえた質の高い大学院教育の実施につながることが想定されるため、長期アウトカムとして設定した。								
長期アウトカム	成果目標	本事業の成果を継続的に把握し、発信することにより大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の質の向上につながる。		成果指標	プログラムを修了した学位取得者が活躍する民間企業、地方公共団体等の外部機関から、プログラムの教育研究内容に関する好意的な評価の割合				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績		2026年度		2027年度		2028年度		2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み/目標値(%)	--		--		--		--	80
	活動実績/成果実績(%)	--		--		--		--	--
	達成率(%)	--		--		--		--	--

アクティビティからの発現経路 101-201-303-402-501

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会系等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。					
アウトプット	活動目標	人文社会系等の大学院修士課程において、専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野を融合した先導的な学位プログラムを構築する。		活動指標	学位プログラムの構築数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
	当初見込み/目標値(件)	0	3	8	11	
	活動実績/成果実績(件)	0	3	8	--	
後続アウトカムへのつながり	構築した先導的な学位プログラムのカリキュラムや教育内容に関する取組内容をシンポジウムやセミナー等の広報活動によって対外的に発信していくことで、選定大学以外の人文社会科学系等の大学院においても取組内容が認知されていくことが想定されるため、短期アウトカムとした。					
短期アウトカム	成果目標	他大学の人文社会科学系等の大学院において、選定大学が構築した学位プログラムの取組が認知される		成果指標	構築した学位プログラムの取組を紹介するシンポジウムやセミナーに参加した他大学のうち、アンケートにおいて本事業の取組を大学院改革の参考にしたいと回答した割合	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	目標年度 2026年度		
	当初見込み/目標値(%)	--	--	80		
	活動実績/成果実績(%)	--	--	--		
	達成率(%)	--	--	--		
後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムが持続的に教育の質向上を図りつつ、選定大学以外の大学にも認知されていくことで、学部段階や民間企業や地方公共団体を含めて、志願者数が増えて、広く社会に認知されていくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。					
中期アウトカム	成果目標	構築した学位プログラムが大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の先進的な取組として、社会的に認知され、学生に志望される		成果指標	構築した学位プログラムにおける入学者数に対する入学志願者数の割合	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2025年度	2026年度	2027年度	目標年度 2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--	--	--	200	--
	活動実績/成果実績(%)	84	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--
後続アウトカムへのつながり	本事業の取組が広く認知され、学位を取得して社会で活躍する事例が増えていくことで、選定されていない大学も含めて本事業で期待する文理横断的なデジタル人材育成の取組が加速していくことが想定されるため、長期アウトカムとして設定した。					
長期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が継続的に育成・輩出される		成果指標	本事業最終年度の翌年度に実施する事後評価において、本事業の目的達成の目安であるA以上の評価を受けた学位プログラムの割合	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業委員会における評価結果	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2026年度	2027年度	目標年度 2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み/目標値(%)	--	--	80	--	80
	活動実績/成果実績(%)	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 101-201-303-402-502

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会系等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。					
アウトプット	活動目標	人文社会系等の大学院修士課程において、専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野を融合した先導的な学位プログラムを構築する。		活動指標	学位プログラムの構築数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
	当初見込み/目標値(件)	0	3	8	11	
	活動実績/成果実績(件)	0	3	8	--	
↓後続アウトカムへのつながり	構築した先導的な学位プログラムのカリキュラムや教育内容に関する取組内容をシンポジウムやセミナー等の広報活動によって対外的に発信していくことで、選定大学以外の人文社会科学系等の大学院においても取組内容が認知されていくことが想定されるため、短期アウトカムとした。					
短期アウトカム	成果目標	他大学の人文社会科学系等の大学院において、選定大学が構築した学位プログラムの取組が認知される		成果指標	構築した学位プログラムの取組を紹介するシンポジウムやセミナーに参加した他大学のうち、アンケートにおいて本事業の取組を大学院改革の参考にしたいと回答した割合	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	目標年度 2026年度		
	当初見込み/目標値(%)	--	--	80		
	活動実績/成果実績(%)	--	--	--		
	達成率(%)	--	--	--		
↓後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムが持続的に教育の質向上を図りつつ、選定大学以外の大学にも認知されていくことで、学部段階や民間企業や地方公共団体を含めて、志願者数が増えて、広く社会に認知されていくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。					
中期アウトカム	成果目標	構築した学位プログラムが大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の先進的な取組として、社会的に認知され、学生に志望される		成果指標	構築した学位プログラムにおける入学志願者数の割合	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2025年度	2026年度	2027年度	目標年度 2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--	--	--	200	--
	活動実績/成果実績(%)	84	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--
↓後続アウトカムへのつながり	本事業の取組が広く認知され、成果を継続的に発信していくことで、選定されていない大学も含めて大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育が浸透していき、社会ニーズを踏まえた質の高い大学院教育の実施につながることが想定されるため、長期アウトカムとして設定した。					
長期アウトカム	成果目標	本事業の成果を継続的に把握し、発信することにより大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の質の向上につながる。		成果指標	プログラムを修了した学位取得者が活躍する民間企業、地方公共団体等の外部機関から、プログラムの教育研究内容に関する好意的な評価の割合	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み/目標値(%)	--	--	--	--	80
	活動実績/成果実績(%)	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 101-202-301-401-501

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会系等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。						
アウトプット	活動目標	人文社会科学系等の大学院修士課程において、構築した専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野の学位プログラムを学生が履修する。		活動指標	構築した学位プログラムにおける履修者数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度		2026年度	
	当初見込み/目標値(人)	17		65		148	
	活動実績/成果実績(人)	22		55		--	
↓後続アウトカムへのつながり	人文・社会科学系分野において、社会的ニーズに即した数理・データサイエンス・AIをはじめとした情報系の分野に関する知識・技術を得得する学位プログラムであることから、効果発現の初期段階として、社会からのニーズに基づき、社会で活躍することを意識した教育の質的向上を図ることができると考えられるため、短期アウトカムとして設定した。						
短期アウトカム	成果目標	構築する学位プログラムにおいて、計画通りに社会ニーズを踏まえた新規科目の設置や既存科目の見直しが行われることにより、教育の質が向上する。		成果指標	学位プログラムを構築するにあたり、事業申請時の計画どおりに新たに構築または内容の高度化を図った科目数の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	目標年度 2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--	--	100	--	--	--
	活動実績/成果実績(%)	123	102	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--
↓後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムにおいて、社会のニーズが反映され、教育の質向上を実施していくことで、本事業で期待される文理横断的なデジタル人材が輩出され、民間企業や地方公共団体で活躍していくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。						

中期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が育成・輩出される。		成果指標	構築した学位プログラムに入学者数に対して、プログラムを修了し、学位を取得した者の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	目標年度 2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--	--	--	--	--	80
	活動実績/成果実績(%)	100	75	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--
↓後続アウトカムへのつながり	本事業の取組が広く認知され、学位を取得して社会で活躍する事例が増えていくことで、選定されていない大学も含めて本事業で期待する文理横断的なデジタル人材育成の取組が加速していくことが想定されるため、長期アウトカムとして設定した。						
長期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が継続的に育成・輩出される		成果指標	本事業最終年度の翌年度に実施する事後評価において、本事業の目的達成の目安であるA以上の評価を受けた学位プログラムの割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業委員会における評価結果		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2026年度	2027年度	目標年度 2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度	
	当初見込み/目標値(%)	--	--	80	--	80	
	活動実績/成果実績(%)	--	--	--	--	--	
	達成率(%)	--	--	--	--	--	

アクティビティからの発現経路 101-202-301-401-502

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会系等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。						
アウトプット	活動目標	人文社会科学系等の大学院修士課程において、構築した専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野の学位プログラムを学生が履修する。		活動指標	構築した学位プログラムにおける履修者数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度		2026年度	
	当初見込み/目標値(人)	17		65		148	
	活動実績/成果実績(人)	22		55		--	
↓後続アウトカムへのつながり	人文・社会科学系分野において、社会的ニーズに即した数理・データサイエンス・AIをはじめとした情報系の分野に関する知識・技術を得得する学位プログラムであることから、効果発現の初期段階として、社会からのニーズに基づき、社会で活躍することを意識した教育の質的向上を図ることができると考えられるため、短期アウトカムとして設定した。						
短期アウトカム	成果目標	構築する学位プログラムにおいて、計画通りに社会ニーズを踏まえた新規科目の設置や既存科目の見直しが行われることにより、教育の質が向上する。		成果指標	学位プログラムを構築するにあたり、事業申請時の計画どおりに新たに構築または内容の高度化を図った科目数の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	目標年度 2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--	--	100	--	--	--
	活動実績/成果実績(%)	123	102	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--
↓後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムにおいて、社会のニーズが反映され、教育の質向上を実施していくことで、本事業で期待される文理横断的なデジタル人材が輩出され、民間企業や地方公共団体で活躍していくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。						

中期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が育成・輩出される。		成果指標	構築した学位プログラムに入学者数に対して、プログラムを修了し、学位を取得した者の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	目標年度 2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--	--	--	--	--	80
	活動実績/成果実績(%)	100	75	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--
↓後続アウトカムへのつながり	本事業の取組が広く認知され、成果を継続的に発信していくことで、選定されていない大学も含めて大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育が浸透していき、社会ニーズを踏まえた質の高い大学院教育の実施につながることが想定されるため、長期アウトカムとして設定した。						
長期アウトカム	成果目標	本事業の成果を継続的に把握し、発信することにより大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の質の向上につながる。		成果指標	プログラムを修了した学位取得者が活躍する民間企業、地方公共団体等の外部機関から、プログラムの教育研究内容に関する好意的な評価の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度	
	当初見込み/目標値(%)	--	--	--	--	80	
	活動実績/成果実績(%)	--	--	--	--	--	
	達成率(%)	--	--	--	--	--	

アクティビティからの発現経路 101-202-301-402-501

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会系等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。						
アウトプット	活動目標	人文社会科学系等の大学院修士課程において、構築した専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野の学位プログラムを学生が履修する。		活動指標	構築した学位プログラムにおける履修者数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度		2026年度	
	当初見込み/目標値(人)	17		65		148	
	活動実績/成果実績(人)	22		55		--	
↓後続アウトカムへのつながり	人文・社会科学系分野において、社会的ニーズに即した数理・データサイエンス・AIをはじめとした情報系の分野に関する知識・技術を得得する学位プログラムであることから、効果発現の初期段階として、社会からのニーズに基づき、社会で活躍することを意識した教育の質的向上を図ることができると考えられるため、短期アウトカムとして設定した。						
短期アウトカム	成果目標	構築する学位プログラムにおいて、計画通りに社会ニーズを踏まえた新規科目の設置や既存科目の見直しが行われることにより、教育の質が向上する。		成果指標	学位プログラムを構築するにあたり、事業申請時の計画どおりに新たに構築または内容の高度化を図った科目数の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	目標年度 2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--	--	100	--	--	--
	活動実績/成果実績(%)	123	102	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--
↓後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムにおいて、社会のニーズが反映され、教育の質向上を実施していくことで、学部段階や民間企業や地方公共団体を含めて、志願者数が増えて、広く社会に認知されていくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。						
中期アウトカム	成果目標	構築した学位プログラムが大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の先進的な取組として、社会的に認知され、学生に志望される		成果指標	構築した学位プログラムにおける入学者数に対する入学志願者数の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2025年度	2026年度	2027年度	目標年度 2028年度	2029年度	
	当初見込み/目標値(%)	--	--	--	200	--	
	活動実績/成果実績(%)	84	--	--	--	--	
	達成率(%)	--	--	--	--	--	
↓後続アウトカムへのつながり	本事業の取組が広く認知され、学位を取得して社会で活躍する事例が増えていくことで、選定されていない大学も含めて本事業で期待する文理横断的なデジタル人材育成の取組が加速していくことが想定されるため、長期アウトカムとして設定した。						
長期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が継続的に育成・輩出される		成果指標	本事業最終年度の翌年度に実施する事後評価において、本事業の目的達成の目安であるA以上の評価を受けた学位プログラムの割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業委員会における評価結果		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2026年度	2027年度	目標年度 2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度	
	当初見込み/目標値(%)	--	--	80	--	80	
	活動実績/成果実績(%)	--	--	--	--	--	
	達成率(%)	--	--	--	--	--	

アクティビティからの発現経路 101-202-301-402-502

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会系等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。						
アウトプット	活動目標	人文社会科学系等の大学院修士課程において、構築した専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野の学位プログラムを学生が履修する。		活動指標	構築した学位プログラムにおける履修者数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度		2026年度	
	当初見込み/目標値(人)	17		65		148	
	活動実績/成果実績(人)	22		55		--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	人文・社会科学系分野において、社会的ニーズに即した数理・データサイエンス・AIをはじめとした情報系の分野に関する知識・技術を得得する学位プログラムであることから、効果発現の初期段階として、社会からのニーズに基づき、社会で活躍することを意識した教育の質的向上を図ることができると考えられるため、短期アウトカムとして設定した。						
短期アウトカム	成果目標	構築する学位プログラムにおいて、計画通りに社会ニーズを踏まえた新規科目の設置や既存科目の見直しが行われることにより、教育の質が向上する。		成果指標	学位プログラムを構築するにあたり、事業申請時の計画どおりに新たに構築または内容の高度化を図った科目数の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	目標年度 2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--	--	100	--	--	--
	活動実績/成果実績(%)	123	102	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムにおいて、社会のニーズが反映され、教育の質向上を実施していくことで、学部段階や民間企業や地方公共団体を含めて、志願者数が増えて、広く社会に認知されていくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。						
中期アウトカム	成果目標	構築した学位プログラムが大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の先進的な取組として、社会的に認知され、学生に志望される		成果指標	構築した学位プログラムにおける入学志願者数の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2025年度	2026年度	2027年度	目標年度 2028年度	2029年度	
	当初見込み/目標値(%)	--	--	--	200	--	
	活動実績/成果実績(%)	84	--	--	--	--	
	達成率(%)	--	--	--	--	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	本事業の取組が広く認知され、成果を継続的に発信していくことで、選定されていない大学も含めて大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育が浸透していき、社会ニーズを踏まえた質の高い大学院教育の実施につながることを想定されるため、長期アウトカムとして設定した。						
長期アウトカム	成果目標	本事業の成果を継続的に把握し、発信することにより大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の質の向上につながる。		成果指標	プログラムを修了した学位取得者が活躍する民間企業、地方公共団体等の外部機関から、プログラムの教育研究内容に関する好意的な評価の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度	
	当初見込み/目標値(%)	--	--	--	--	80	
	活動実績/成果実績(%)	--	--	--	--	--	
	達成率(%)	--	--	--	--	--	

アクティビティからの発現経路 101-203-302-401-501

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会系等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。							
アウトプット	活動目標	人文社会科学系等の大学院修士課程において、構築する専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野の学位プログラムについて、企業や地方公共団体等、社会に広く発信するためのシンポジウムやセミナー等の広報活動を実施する			活動指標	構築した学位プログラムに関するシンポジウムやセミナー等の広報イベントの開催件数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
	当初見込み/目標値(件)		2	6	9	--	--	
	活動実績/成果実績(件)		9	9	--	--	--	
後続アウトカムへのつながり	企業での活用事例等の最新の動向に関する理解が不可欠な情報系分野を融合した学位プログラムであることを踏まえて、効果発現の初期段階として、民間企業や地方公共団体等の外部機関との連携が深まることが考えられるため、短期アウトカムとして設定した。							
短期アウトカム	成果目標	構築する学位プログラムにおいて、計画通りに民間企業や地方公共団体等の外部機関が参画する体制が構築されることにより、社会からのニーズが的確に反映された大学院教育を実現する。			成果指標	学位プログラムを構築するにあたり、事業申請時の計画どおりに民間企業や地方公共団体等の外部機関が教育研究に参画している割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	目標年度2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)		--	--	90	--	--	--
	活動実績/成果実績(%)		33	56	--	--	--	--
	達成率(%)		--	--	--	--	--	--
後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムにおいて、社会のニーズが反映され、教育の質向上を実施していくことで、本事業で期待される文理横断的なデジタル人材が輩出され、民間企業や地方公共団体で活躍していくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。							
中期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が育成・輩出される。			成果指標	構築した学位プログラムに入学者数に対して、プログラムを修了し、学位を取得した者の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	目標年度2029年度
	当初見込み/目標値(%)		--	--	--	--	--	80
	活動実績/成果実績(%)		100	75	--	--	--	--
	達成率(%)		--	--	--	--	--	--
後続アウトカムへのつながり	本事業の取組が広く認知され、学位を取得して社会で活躍する事例が増えていくことで、選定されていない大学も含めて本事業で期待する文理横断的なデジタル人材育成の取組が加速していくことが想定されるため、長期アウトカムとして設定した。							
長期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が継続的に育成・輩出される			成果指標	本事業最終年度の翌年度に実施する事後評価において、本事業の目的達成の目安であるA以上の評価を受けた学位プログラムの割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業委員会における評価結果		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績			2026年度	2027年度	目標年度2028年度	2029年度	最終目標年度2030年度	
	当初見込み/目標値(%)		--	--	80	--	80	
	活動実績/成果実績(%)		--	--	--	--	--	
	達成率(%)		--	--	--	--	--	

アクティビティからの発現経路 101-203-302-401-502

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会系等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。							
アウトプット	活動目標	人文社会科学系等の大学院修士課程において、構築する専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野の学位プログラムについて、企業や地方公共団体等、社会に広く発信するためのシンポジウムやセミナー等の広報活動を実施する		活動指標	構築した学位プログラムに関するシンポジウムやセミナー等の広報イベントの開催件数			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	2026年度		2026年度	
	当初見込み/目標値(件)		2	6	9		9	
	活動実績/成果実績(件)		9	9	--		--	
後続アウトカムへのつながり	企業での活用事例等の最新の動向に関する理解が不可欠な情報系分野を融合した学位プログラムであることを踏まえて、効果発現の初期段階として、民間企業や地方公共団体等の外部機関との連携が深まることが考えられるため、短期アウトカムとして設定した。							
短期アウトカム	成果目標	構築する学位プログラムにおいて、計画通りに民間企業や地方公共団体等の外部機関が参画する体制が構築されることにより、社会からのニーズが的確に反映された大学院教育を実現する。		成果指標	学位プログラムを構築するにあたり、事業申請時の計画どおりに民間企業や地方公共団体等の外部機関が教育研究に参画している割合			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	目標年度2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)		--	--	90	--	--	--
	活動実績/成果実績(%)		33	56	--	--	--	--
	達成率(%)		--	--	--	--	--	--
後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムにおいて、社会のニーズが反映され、教育の質向上を実施していくことで、本事業で期待される文理横断的なデジタル人材が輩出され、民間企業や地方公共団体で活躍していくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。							
中期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が育成・輩出される。		成果指標	構築した学位プログラムに入学者数に対して、プログラムを修了し、学位を取得した者の割合			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	目標年度2029年度
	当初見込み/目標値(%)		--	--	--	--	--	80
	活動実績/成果実績(%)		100	75	--	--	--	--
	達成率(%)		--	--	--	--	--	--
後続アウトカムへのつながり	本事業の取組が広く認知され、成果を継続的に発信していくことで、選定されていない大学も含めて大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育が浸透していき、社会ニーズを踏まえた質の高い大学院教育の実施につながることが想定されるため、長期アウトカムとして設定した。							
長期アウトカム	成果目標	本事業の成果を継続的に把握し、発信することにより大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の質の向上につながる。		成果指標	プログラムを修了した学位取得者が活躍する民間企業、地方公共団体等の外部機関から、プログラムの教育研究内容に関する好意的な評価の割合			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績			2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度2030年度	
	当初見込み/目標値(%)		--	--	--	--	80	
	活動実績/成果実績(%)		--	--	--	--	--	
	達成率(%)		--	--	--	--	--	

アクティビティからの発現経路 101-203-303-402-501

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会科学等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。			
アウトプット	活動目標	人文社会科学系等の大学院修士課程において、構築する専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野の学位プログラムについて、企業や地方公共団体等、社会に広く発信するためのシンポジウムやセミナー等の広報活動を実施する	活動指標	構築した学位プログラムに関するシンポジウムやセミナー等の広報イベントの開催件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み/目標値(件)	2	6	9
	活動実績/成果実績(件)	9	9	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	構築した先導的な学位プログラムのカリキュラムや教育内容に関する取組内容をシンポジウムやセミナー等の広報活動によって対外的に発信していくことで、選定大学以外の人文社会科学系等の大学院においても取組内容が認知されていくことが想定されるため、短期アウトカムとした。			
短期アウトカム	成果目標	他大学の人文社会科学系等の大学院において、選定大学が構築した学位プログラムの取組が認知される	成果指標	構築した学位プログラムの取組を紹介するシンポジウムやセミナーに参加した他大学のうち、アンケートにおいて本事業の取組を大学院改革の参考にしたいと回答した割合
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	目標年度 2026年度
	当初見込み/目標値(%)	--	--	80
	活動実績/成果実績(%)	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムが持続的に教育の質向上を図りつつ、選定大学以外の大学にも認知されていくことで、学部段階や民間企業や地方公共団体を含めて、志願者数が増えて、広く社会に認知されていくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。			

中期アウトカム	成果目標	構築した学位プログラムが大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の先進的な取組として、社会的に認知され、学生に志望される	成果指標	構築した学位プログラムにおける入学者数に対する入学志願者数の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2025年度	2026年度	2027年度	目標年度 2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)	--	--	--	200	--
	活動実績/成果実績(%)	84	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	本事業の取組が広く認知され、学位を取得して社会で活躍する事例が増えていくことで、選定されていない大学も含めて本事業で期待する文理横断的なデジタル人材育成の取組が加速していくことが想定されるため、長期アウトカムとして設定した。					
長期アウトカム	成果目標	人文社会科学系等の分野に高度な数理・データサイエンス・AIのスキルを身につけたデジタル人材が継続的に育成・輩出される	成果指標	本事業最終年度の翌年度に実施する事後評価において、本事業の目的達成の目安であるA以上の評価を受けた学位プログラムの割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業委員会における評価結果		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2026年度	2027年度	目標年度 2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み/目標値(%)	--	--	80	--	80
	活動実績/成果実績(%)	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--

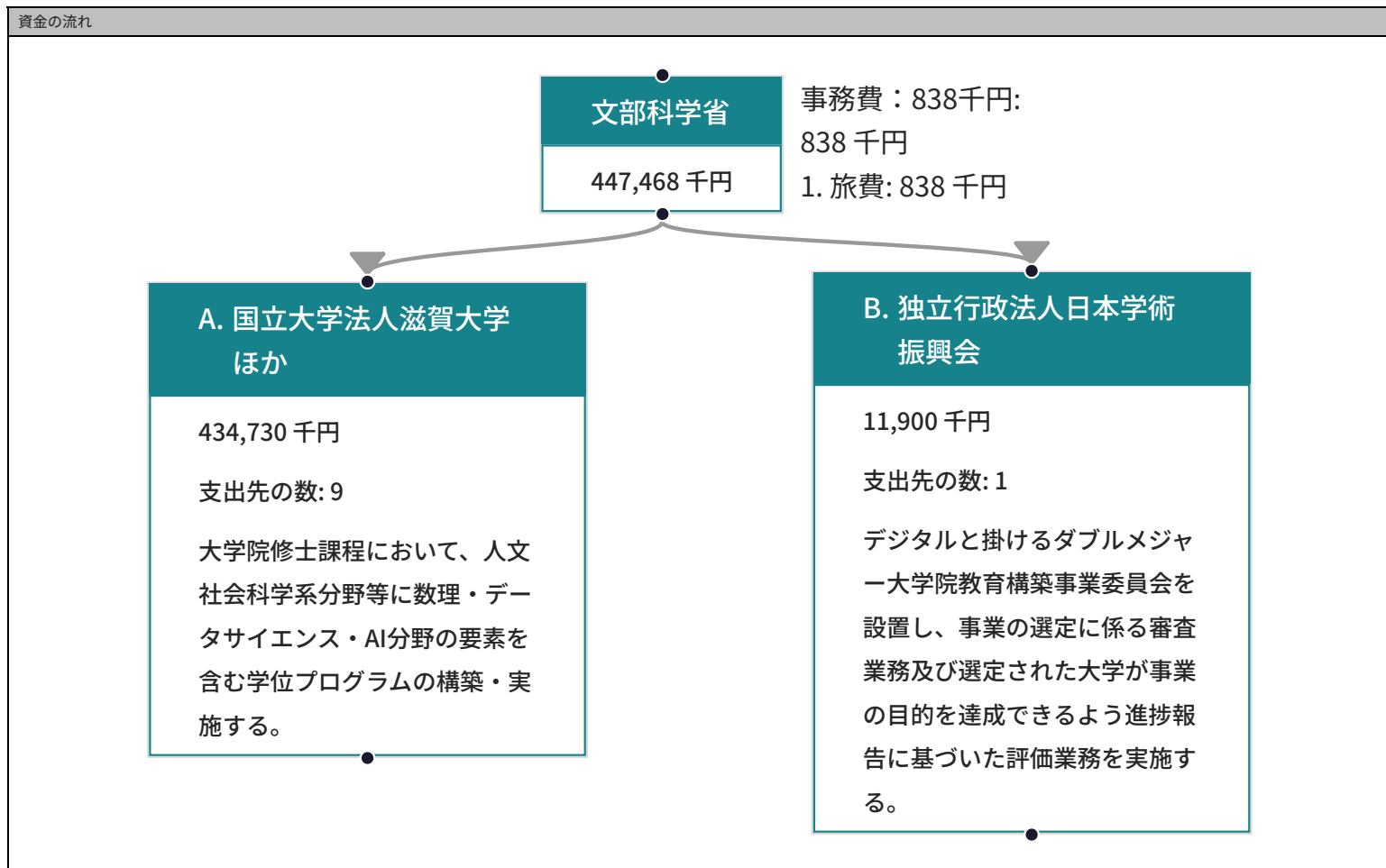
アクティビティからの発現経路 101-203-303-402-502

アクティビティ	国から意欲のある国公私立大学に対して、大学院修士段階の人文社会系等の研究科における専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野のダブルメジャーなどの分野融合の体系的な大学院教育の先導的モデルの構築に係る取組を支援。						
アウトプット	活動目標	人文社会科学系等の大学院修士課程において、構築する専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス分野の学位プログラムについて、企業や地方公共団体等、社会に広く発信するためのシンポジウムやセミナー等の広報活動を実施する		活動指標	構築した学位プログラムに関するシンポジウムやセミナー等の広報イベントの開催件数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	2026年度		
	当初見込み/目標値(件)		2	6	9		
	活動実績/成果実績(件)		9	9	--		
後続アウトカムへのつながり	構築した先導的な学位プログラムのカリキュラムや教育内容に関する取組内容をシンポジウムやセミナー等の広報活動によって対外的に発信していくことで、選定大学以外の人文社会科学系等の大学院においても取組内容が認知されていくことが想定されるため、短期アウトカムとした。						
短期アウトカム	成果目標	他大学の人文社会科学系等の大学院において、選定大学が構築した学位プログラムの取組が認知される		成果指標	構築した学位プログラムの取組を紹介するシンポジウムやセミナーに参加した他大学のうち、アンケートにおいて本事業の取組を大学院改革の参考にしたいと回答した割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	目標年度 2026年度		
	当初見込み/目標値(%)		--	--	80		
	活動実績/成果実績(%)		--	--	--		
	達成率(%)		--	--	--		
後続アウトカムへのつながり	構築した学位プログラムが持続的に教育の質向上を図りつつ、選定大学以外の大学にも認知されていくことで、学部段階や民間企業や地方公共団体を含めて、志願者数が増えて、広く社会に認知されていくことが想定されるため、中期アウトカムとして設定した。						
中期アウトカム	成果目標	構築した学位プログラムが大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の先進的な取組として、社会的に認知され、学生に志望される		成果指標	構築した学位プログラムにおける入学者数に対する入学志願者数の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績			2025年度	2026年度	2027年度	目標年度 2028年度	2029年度
	当初見込み/目標値(%)		--	--	--	200	--
	活動実績/成果実績(%)		84	--	--	--	--
	達成率(%)		--	--	--	--	--
後続アウトカムへのつながり	本事業の取組が広く認知され、成果を継続的に発信していくことで、選定されていない大学も含めて大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育が浸透していき、社会ニーズを踏まえた質の高い大学院教育の実施につながることが想定されるため、長期アウトカムとして設定した。						
長期アウトカム	成果目標	本事業の成果を継続的に把握し、発信することにより大学院段階における数理・データサイエンス・AI教育の質の向上につながる。		成果指標	プログラムを修了した学位取得者が活躍する民間企業、地方公共団体等の外部機関から、プログラムの教育研究内容に関する好意的な評価の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施大学への状況調査(文部科学省調べ)等による		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績			2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み/目標値(%)		--	--	--	--	80
	活動実績/成果実績(%)		--	--	--	--	--
	達成率(%)		--	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--					
	URL	--					
	該当箇所	--					

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	本事業は、「経済財政運営と改革の基本方針2021」（令和3年6月18日閣議決定）等の政府文書において指摘されている、DXを担うデジタル人材の不足や、今後の社会を牽引する高度人材を養成するための文理横断の体系的な大学院教育の実現に向けて、必要な取組であり、国が実施すべき事業である。令和7年度においては、令和4年度選定大学6校すべてで学位プログラムが開設され、今後、計画通りに修了者を輩出し、成果を発信していくための取組が期待されることである。中間評価やフォローアップ評価を実施した結果、全体としては計画通りに進捗はしているが、令和6年度選定大学3校も含めて引き続き事業目的達成に向けた取組の向上が必要である。 なお、経費の執行については、交付要綱や取扱要領等で補助対象経費を明示・限定するとともに、交付決定時に、事業実施のうえで真に必要な経費かどうか精査した。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	本事業が目的としている今後の社会を牽引する高度人材を養成するための文理横断の体系的な大学院教育の実現に向けて、学位プログラムの修了だけでなくプログラムが進捗していくことで期待される効果をアウトプット・アウトカムとして精査することとした。精査したアウトプット・アウトカムも踏まえて、各大学の事業内容の改善につなげていくこととする。		
外部有識者による点検	点検対象	--	最終実施年度	2023
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	--	詳細	--
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	改善点・反映状況	--		
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)
	詳細	--	--	--
公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			

支出先



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A	国立大学法人滋賀大学ほか	434,730	9	大学院修士課程において、人文社会科学系分野等に数理・データサイエンス・AI分野の要素を含む学位プログラムの構築・実施する。
	支出先名	支出額	法人番号		
	国立大学法人滋賀大学	52,455	2160005005646		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業補助金等交付補助金等交付	52,455	1	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	国立大学法人岡山大学	52,455	2260005002575		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業補助金等交付補助金等交付	52,455	1	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	国立大学法人広島大学	52,455	1240005004054		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業補助金等交付補助金等交付	52,455	1	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	国立大学法人九州大学	52,455	3290005003743		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業補助金等交付補助金等交付	52,455	1	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		

	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
		学校法人東北学院	52,455	1370005001402	
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業補助金等交付補助金等交付	52,455	1	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	学校法人栗本学園	52,455	1180005007369		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業補助金等交付補助金等交付	52,455	1	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	国立大学法人岩手大学	40,000	6400005002202		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業補助金等交付補助金等交付	40,000	1	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	国立大学法人東京芸術大学	40,000	6010505001362		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業補助金等交付補助金等交付	40,000	1	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	国立大学法人金沢大学	40,000	2220005002604		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業補助金等 交付 補助金等交付	40,000	1	--	--
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
B	独立行政法人日本学術振興会	11,900	1	デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業委員会を設置し、事業の選定に係る審査業務及び選定された大学が事業の目的を達成できるよう進捗報告に基づいた評価業務を実施する。	
支出先名		支出額	法人番号		
独立行政法人日本学術振興会		11,900	1010005006890		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業（審査・ 評価事業）補助金等交付 補助金等交付		11,900	1	--	--
費目・用途 (単位：千円)	支出先名	契約概要（契約名）	費目	用途	金額
A	国立大学法人滋賀大学	デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業補助金等 交付	人件費・謝金	事業を統括・実施する教職員の雇用、内部 事業評価やシンポジウム開催における外部 有識者に対する謝礼	36,240
--	--	--	その他	事業成果に関するシンポジウム開催に係る 会議費、外注費等	3,560
--	--	--	物品費	学位プログラムの実施に必要な事務用品等 の購入	326
--	--	--	旅費	外部講師や外部有識者の招聘	224
B	独立行政法人日本学術振興会	デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業（審査・ 評価事業）補助金等交付	人件費・謝金	業務担当職員の給与、事業委員会委員への 謝礼	7,216
--	--	--	その他	事業委員会、評価業務における外注費等	2,464
--	--	--	旅費	評価業務における現地調査	2,160
--	--	--	物品費	事業実施に必要な事務用品購入	60
国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)	契約先名	契約額	法人番号		
	--	--	--		

その他備考

--
